

4. 広がる支援の輪 ～水巻町チームオレンジ活動報告～

町では認知症の人を地域で支える取り組みとして、認知症サポーターなどの支援者と認知症の人やその家族をつなぐ「水巻町チームオレンジ」が活動しています。イベントや勉強会の開催、認知症カフェなどでの交流、日頃の見守り声掛けなどにより、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる町を目指しています。



7月3日に「おれんじサポーター」と吉田小学校で寸劇を交えた養成講座を行いました。



【おれんじサポーターインタビュー 鶴田栄さん】
▷サポーターになろうと思ったきっかけは？
町内会の役をしている関係で声を掛けられ、色々な所から誘われて参加していると自然にここに立っていました。
▷サポーターになって良かったこと楽しかったこと
老いる事の知識が得られて良かったです。
▷サポーターとしてこれからしてみたいこと
地域の高齢者と若者（子ども含む）が交流できる活動をしていきたいです。高齢者が生き生きしている町っていいと思いませんか。

募集中

おれんじサロン水巻

誰でも参加できる集いの場です。なつかしい映像や歌謡にふれ思い出を語り合しましょう。他にも、楽しい運動や専門家への相談コーナーなど、盛りだくさんの内容です。

とき 9/24(木)13時30分～15時30分

ところ サクラほーる

対象 町内に住んでいる人

費用 無料

申込方法 電話または窓口

☎☎ 役場包括支援係

認知症当事者の交流会 おれんじタイム

認知症を理由に諦めていることはありませんか。誰かの役に立ちたい、新たなことにチャレンジしたい、困っているけど手助けがあればできることなど、皆さんの話を聞かせてください。当日は簡単な運動などの時間も予定しています。

とき 9/30(月)10時～11時30分

ところ 役場302会議室

対象 町内に住んでいる認知症（疑い含む）の当事者

※家族の付き添いも可能です。

定員 10人程度

費用 無料

申込期限 9/27(金)

申込方法 電話または窓口

☎☎ 役場包括支援係

支える家族の交流会 おれんじファミリー水巻

認知症の人を支えている家族などが、互いに日々の悩みや想いを気軽に話したり、介護や医療の情報を交換する場として、家族のための交流会「おれんじファミリー水巻」を開催します。気軽に参加してください。

今回は、「自律神経と睡眠」のミニ講座を予定しています。

とき 9/30(月)10時～11時30分

ところ 役場303会議室

対象 町内に住んでいる認知症の人の家族や介護者

定員 10人程度

費用 無料

申込期限 9/27(金)

申込方法 電話または窓口

☎☎ 役場包括支援係

認知症ってなんだろう？

9月は世界アルツハイマー月間です。この機会に認知症への理解を深め、思いやりの気持ちを持ち、誰もが自分らしく笑顔で暮らせる地域の実現を目指しましょう。

☎ 役場包括支援係



▲認知症ガイドブックは町のホームページから確認できます。

1. 認知症とは？

認知症は加齢によって生じる物忘れではなく、脳の細胞が壊れたり、動きが悪くなったりして記憶力や判断力に障がいが起こり、およそ6カ月以上生活に支障が出ている状態です。例えば、朝ごはんを食べたこと自体を忘れてしまったり、親しい人の名前が思い出せなかったりする場合は、認知症の兆候かもしれません。

2. 認知症の種類

【アルツハイマー型認知症】

昔のことは覚えていますが、最近のことは忘れてしまいます。軽度のも忘れから徐々に進行し、やがて時間や場所の感覚がなくなっていくます。

【脳血管性認知症】

脳出血や脳梗塞などの脳血管障害が起こるたびに段階的に進行します。障がいが発生した脳の部位によって症状が異なります。

【レビー小体型認知症】

現実にはないものが見える幻視の発生や、手足が震えたり、筋肉が固くなることにより歩幅が狭くなったり、転びやすくなったりします。

【前頭側頭型認知症】

感情の抑制ができなくなったり、社会のルールが守れなくなったりといったことが起こります。

3. 町の取り組み

認知症サポーター養成講座

認知症サポーター養成講座では、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族の気持ちを理解し、寄り添い・見守る応援者としての知識を伝えています。講座終了後は、認知症サポーターの目印としてオレンジ色のバッジを配布しています。

さらに、ステップアップ講座を受講し、町に登録することで、「おれんじサポーター」として活動することもできます。

認知症初期集中支援チーム

認知症の診断を受けて欲しいけれど本人が拒否する、認知症の症状が強いけれど介護サービスを拒否して困っているなどの場合は相談してください。医療や介護の専門家でチームを組み、認知症が疑われる人やその家族に対して、早期診断・早期対応に向けた支援を行います。

大切な家族を守るために 見守りが必要な認知症高齢者の在宅生活を支えるサービス

認知症によるはいかい行動などの恐れがある高齢者の「もしも」に備えて利用できるサービスを紹介しします。事前に役場で緊急連絡先などの情報を登録することで、行方不明になったときの捜索がよりスムーズにできるようになります。大切な家族を守るために、事前登録しておきましょう。

対象 はいかい行動の恐れがある高齢者など

利用方法 詳しくは役場高齢者支援係に問い合わせてください。

ステッカー・
蛍光シール
の配布

登録番号や役場への連絡先が書かれたステッカーなどを、いつも身に着けている衣類などに貼っておくことで、本人の早期発見や家族への早期連絡につながります。

SOS
ネットワーク
システム

行方不明などで捜索願が出されたときに、警察の捜索だけでなくタクシー会社など協力団体の支援も受けられます。